

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
①	臨床実習前施術実技に関する評価を行うこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
②	1 ア, オ	全部合っているものだけを正答とする。順序は問わない。	8	24
	2 陰虚	陰虚証 もよい。	8	
	3 転化	陰陽転化 もよい。	8	
③	1 ア, イ, ウ	全部合っているものだけを正答とする。順序は問わない。	8	26
	2 イ, オ	全部合っているものだけを正答とする。順序は問わない。	8	
	3 コルチゾール低下によるネガティブ・フィードバックでACTHの増加に伴い起こる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
④	1 心臓が血液で充満して心筋が伸展されると、心筋はその伸展の度合いに応じて大きな収縮力を発生するという法則。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	36
	2 刺激伝導系が心房と心室の間で障害を受け、心房と心室が病的にそれぞれのリズムで収縮を始める状態。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	3 エ		8	
	4 まず、等容性収縮期は、動脈弁も房室弁も閉鎖している時期である。次に、駆出期は、動脈弁が開く。房室弁は閉鎖している時期である。3つ目に等容性弛緩期は、動脈弁も房室弁も閉鎖している時期である。最後に、充満期（流入期）は、動脈弁は閉鎖しており、房室弁は開いている時期である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
5	1	ア 鼻翼外方 イ 内眼角 ウ 外眼角	各4×3	32	
	2	ア 絡穴			各4×3
		イ 郄穴			
		ウ 募穴			
	3	ア, イ, ウ, エ	全部合っているものだけを正答とする。 順序は問わない。		8
	6	1	ア, エ		全部合っているものだけを正答とする。 順序は問わない。
2		病的組織の焦灼破壊で、イボやウオノメを治療する目的	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
3		誘導作用	患部誘導作用、健部誘導作用 もよい。	8	
4		灸頭鍼の施術の手順において、艾に火をつけずに繰り返し練習させる。その手順ができるようになった後に、実際に艾に火をつけて、練習させるが、その際は、被施術者の皮膚の鍼の周囲にアルミホイル等を置き、もし、艾が落下してしまったときにも火傷が起こらないように安全対策を徹底し、生徒の施術への不安感や恐怖心を取り除く。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	14	
7	1	仰臥位にして、下肢を伸展させたまま股関節を屈曲し、大腿後側の放散痛を診る。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	36
	2	① S		各4×2	
		② O			
	3	・糖尿病 ・腎疾患 ・糖尿病性腎症 ・腎盂腎炎 ・高脂血症 ・糸球体腎炎	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
4	・脊柱起立筋筋腹に単刺、雀啄を行う。 ・経絡の足の太陽膀胱経の1線のラインに直刺、2線のラインに内側に向け斜刺で、15分置鍼を行う。 ・肺部全体に小児鍼（ローラー鍼・集毛鍼等）を15分行う。 ・腰腿点を用いて、運動鍼を行う。 ・腎兪、大腸兪を結び、低周波鍼通電療法で1 Hz 15分間行う。 ・委中、陽陵泉に15分間置鍼する。 ・大腿後側の坐骨神経の走行に沿って単刺を行う。 ・臀部の筋緊張の部位に2寸で単刺、雀啄を行う。	2つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	各6×2		